

大規模太陽光(メガソーラー)発電事業の 基本協定を締結しました

本市では、行田エコタウンの創出と市有地の有効活用を目的に、「大規模太陽光(メガソーラー)発電施設」の誘致を進めてきました。

このたび、施設を設置・運営する事業者と基本合意に達し、1月29日に基本協定を締結しました。

この施設は行田エコタウンのシンボルとなり、環境教育の推進や再生可能エネルギーの普及促進が図られることが期待されます。

場 所	荒木地内市有地
貸付面積	32,697平方メートル
着 工	平成25年度中
期間(予定)	施設の稼働から20年間
太陽電池出力	2,338.56キロワット (約2.3メガワット) ※県内最大級 ※年間発電量は一般家庭の約650世帯分に相当
設置・運営する事業者	国際航業株式会社・JAG国際エナジー株式会社連合体



基本協定を締結し、握手する工藤市長(右)、JAG国際エナジー(株)木村社長(中央)、国際航業(株)上野取締役(左)

荒木地内の市有地に設置されるメガソーラー発電施設(イメージ)



▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

「市長への手紙」③9

このコーナーでは、手紙や電子メールなどにより市長へご意見・ご提言などをいただいたものの中から、その一部を紹介します。

▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線 318)



◆ 意 見 ◆

石田堤は市内から離れた場所にあるので、交通アクセスを改善してほしい。

また、公園として整備する予定はあるのか。

◆ 回 答 ◆

石田堤は残存状況が良好なことから、埼玉県指定史跡に指定されています。市では、現状のまま保存・管理していくことが望ましいと考えています。

映画「のぼうの城」の公開に伴い、石田堤を訪れる観光客が増えることが予想されるため、駐車場を新設したほか、交通アクセスを記載した石田堤のパンフレットを作成しました。

石田堤は本市を代表する重要な史跡ですので、今後とも、保存・管理に努めるとともに、関係機関と連携を図りながら、交通アクセスの向上に取り組んでいきます。

◆ 意 見 ◆

犬のふんをそのまま放置したり、リード(鎖)をしないまま犬の散歩をしている人が多いので、犬の飼い主に注意してほしい。

◆ 回 答 ◆

市では、狂犬病集団予防接種時において犬の飼養マナーの啓発活動をしたり、職員による市内巡回PR活動などを行っています。

公園などの施設については、管理者が主体となって園内に看板を設置し、犬のふんの適正な処理などを呼び掛けているほか、必要に応じて飼い主に注意をしています。

これからも、犬の飼い主のマナーおよびモラル向上の啓発活動を強化し、市民と飼い犬が共生できる快適な生活環境を確保していきます。

◆ 意 見 ◆

独身の男女が出会うことができる場やパーティーなどをもっと企画してほしい。出会いの場で結婚し、行田市に住んでもらえれば、人口も増え行田市の発展につながると思う。

◆ 回 答 ◆

市では、年2回「であいのつどい」という婚活イベントを開催しています。このイベントは、市内の方だけでなく市外の方も対象にしたもので、毎回趣向を凝らしたイベントを開催し、カップルも誕生しています。平成25年度も「であいのつどい」を開催する予定ですので、多くの方に参加していただけるよう、趣向を凝らしたイベントを企画していきます。

また、人口減少対策の観点から、本市を定住先に選んでいただくための施策を展開していく必要があります。関係機関や各種団体と連携を図りながら、魅力ある婚活事業を実施していきます。

第7回 浮き城のまち景観賞の受賞作品が決定しました

良好な自然風景や、造形的に優れた建築物などを表彰することを目的とした、浮き城のまち景観賞の第7回受賞作品が次のとおり決定しました。

とねおおぜき 利根大堰	作品名	こだいはずのさと 古代蓮の里
須加	所在地	小針 2375-1
	作品写真	
独立行政法人水資源機構	管理者	財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
<p>昭和38～43年度にかけて、利根川本川・河口から154キロメートル地点に建設された堰である。</p> <p>この堰は、首都圏の水需要に応えるために建設され、平成7～9年度にかけては、従来からあった魚道の大改築を実施し、サケやアユの遡上数を増加させ、自然環境の保護に寄与している。堰の下流側から武蔵大橋(全長687.2メートル)と共に眺めると、その背後に赤城山を望むことができ、壮大なスケール感のある景観が展開される。</p>	<p>講評 (選定理由)</p> <p>平成4～12年度にかけて、行田蓮(古代蓮)をシンボルとする公園として整備された。</p> <p>この公園には、古代蓮池、世界の蓮園、水生植物園、水鳥の池、お花見広場、古代蓮会館などの施設があり、展望タワーからは、眼下に広がる水田の農村風景のほか、首都圏や富士山をはじめとする多くの山々など関東一円が遠望され、子どもからお年寄りまですべての市民が楽しめる新しい景勝の地となっている。</p>	

※講評：浮き城のまち景観賞審査委員会 白井裕泰委員長(ものつくり大学教授)

市ではこれからも、本賞の実施を通じて景観に配慮したまちづくりを進めていく予定です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

▶問い合わせ 都市計画課計画担当 ☎550-1550

7 ▼問い合わせ 図書館 ☎556-422



児童書を寄贈する行田ロータリークラブ古沢会長(左)

行田ロータリークラブから児童書の目録が贈呈されました

1月29日、行田ロータリークラブ(古沢勇治会長)から本市に児童書の目録が贈呈されました。

同クラブでは、多くの子供たちに本を読んでもらうため、親しんでもらおうと、平成15年から毎年児童書を寄贈し、3千817冊の児童書が図書館に並んでいます。また、館内には行田ロータリークラブ児童書コーナーを設置しており、「行田ロータリークラブ文庫」として子供たちに親しまれています。

今回の寄贈により、さらに充実した児童書コーナーとなるでしょう。